

ノイズキャンセリング

第二稿

井上ゆうき

2025/04/02

△登場人物▽

健斗(25) …主人公。

女性(23) …繁華街で男性に絡まれる。

○ 駅前・改札口（夜）

スーツ姿で改札を抜けてくる健斗（25）。
耳にはワイヤレスイヤホンを付けている。

○ 駅近くの繁華街・路上（夜）

健斗、音楽を聴きながら騒がしい繁華街を歩いている。

健斗、イヤホンのボタンを押す。

と、周囲の居酒屋から聞こえていた喧騒が健斗の耳には聞こえなくなり、音楽だけが残る。

音楽に乗って足取り軽く歩いている健斗。

健斗、道路を挟んで向かいの路上で、ガタイの良い男性⁽²⁾人が女性⁽²⁾人を囲んでいるのを見かける。

男性の一人が女性（23）の手を掴もうとするが、女性⁽²⁾は激しく抵抗して振り解く。

女性、向かいでその様子を見ている健斗に気づき、何かを言う。

しかし健斗の耳には聞こえず、ただ音楽だけが流れている。

健斗、女性が自分を見て何か言っていることに気づき、そそくさとその場から去る。

タイトル 「ノイズキャンセリング」

○ 駅前・改札口（日替わり・深夜）

深夜の人気のない駅前。

スーツ姿で改札を抜ける健斗。

足取りはフラフラときこちなく、顔は赤い。

腕時計で時間を見ると、深夜の1時。

健斗、ため息をつき歩いていく。

○ 駅近くの繁華街・路上（深夜）

通りは静寂に包まれている。

その中を歩く健斗。

と、20メートルほど先に、女性が健斗の方を向いて立っている。

前髪で顔は見えない。

健斗、イヤホンを取り出し、ノイズキャンセリングを起動して音楽を聴き始める。

徐々に女性に近づいていく健斗。

健斗、女性の横を通過しようとして。

女性の声「エエ」

と、耳に音楽でない低い声が響く。

健斗、ビクツとして女性の方を見る。

女性、首だけ健斗の方である真横にもたげ、目を見開いて健斗を見ている。

健斗 「!?!?」

健斗、怖くなり走り出す。

○ 住宅街・路上（深夜）

住宅街の中を走っている健斗。

イヤホンをしたままの健斗の耳。

健斗の耳には音楽が流れているが、時々曲が途切れたり、急に別の曲が流れ始めたりしている。

健斗、後ろを振り返るが、女性は来ていない。

健斗、走っていた足を緩め、早歩きで帰っていく。

○ マンション・健斗の部屋・玄関（深夜）

部屋に入ってくる健斗。

玄関のドアを閉め、鍵をかける。

健斗、ほっと深呼吸をして、イヤホンを外す。

○同・同・寝室（深夜）

ベッドで寝ている健斗。

健斗の耳に、小さな音が聞こえてくる。

健斗、音に気づいて目を覚ます。

その音は、徐々に大きくなっていく。

小さくて聞き取れなかったその音は、大きくなるにつれ、明らかな女性の呻き声として聞こえてくる。

健斗、思わずベッド横に置いていたイヤホンを耳につけ、ノイズキャンセリングを起動する。

起動した瞬間、静寂に包まれる部屋。

健斗、ベッドから体を起こし、部屋を見回す。

が、常夜灯で薄暗く視界がぼんやりしている。

荒い呼吸をする健斗。

健斗の耳には、段々とテンポが早くなる自身の心拍音のみが聞こえる。

と、背後から声。

女性の声「アウエエエー」

健斗、振り向くと目の前には真つ青な女性の顔面。

女性の目には光がなく、しかし確実に健斗を見つめている。

健斗 「あああああああ！！」

健斗、恐怖に怯えた顔で叫び声を上げる。

○同・同・玄関前（深夜）

健斗の部屋の前。

部屋の中からは、何の音も聞こえてこない。

（終）